Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

Kodak Gray Scale

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

式子内親王集

百首

春二十首

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

友のまいやとてかくはなれとをうつりゆく
ゑのはなりとをうつりゆく
ゑのはなりとをうつりゆく
ゑのはなり

秋の夜ふかみ月をまちて立ちいでぬるかの
方をながめやりてよめる
たれかまた待つらむとおもふ月の
さやけさのみ秋の夜ふけゆく
ものおもふ人のもとにつかはしける
神無月のしぐれとともにいけ寝ぬ
いかなる人のもとにかは
ものおもふ人のもとにつかはしける
さえわたる月の光にあかしつる
そぞろ寒の小夜ふけぬとて
あけぬなとうらめしきかな
あけぬなとうらめしきかな
あけぬなとうらめしきかな

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出つゝやてらの梅はなを見ては
四方の谷に谷ふる雪
うゝしく欲つゝ世にはふかく
別のいつてとかつゝぬ海のうゝ
ゝ雪さへ見たいそてるはゆらとゝ
見しとまあるすかゝ沈れはつのゝ
うたにや花はほすたゝぬ日まれる
人しの恋ゝと夢ゝ見てゝ世流ゝ芦ゝぬ
夫ゝ代のゝ山ゝ山ゝ山ゝ山ゝ

百首

春廿首

霞ゝ花ゝ海ゝ山ゝ春ゝ山ゝ
ゝ世ゝ山ゝ数ゝ花ゝ清ゝ
雪ゝ山ゝ春ゝ
袖ゝ
尺ゝ
芳ゝ
梅ゝ
匂ゝ
ゝ世ゝ

[illegible]

玉葉春

[illegible]

玉葉夏

春の夜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋大臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文て行れば思ひ儘ならつ涙にくれて神なれ月を
[illegible]
吹とし言葉にたとへまほしき様なり

そもそも

神なれ月にはすゑ[illegible]山[illegible]
[illegible]
いくかつもとしたはれて[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

世次雜部 始也 終ニナシ

あはれとてむかしの[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

あはれ四[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

遠久上人春ノ

百首

春二十首

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋二十首

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

稲荷にまうでゝ
なのつかるゝ

寝

[illegible]
かくばかりなれぬ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

山ぶきの花の盛りにきたりしかば小男鹿の
鳴くをきくとて　　山ぶきの花のさかりにきたりしかば小男鹿の
山里にすむ人はなほ秋の夜のなかばの
ものとおもふ

鳥

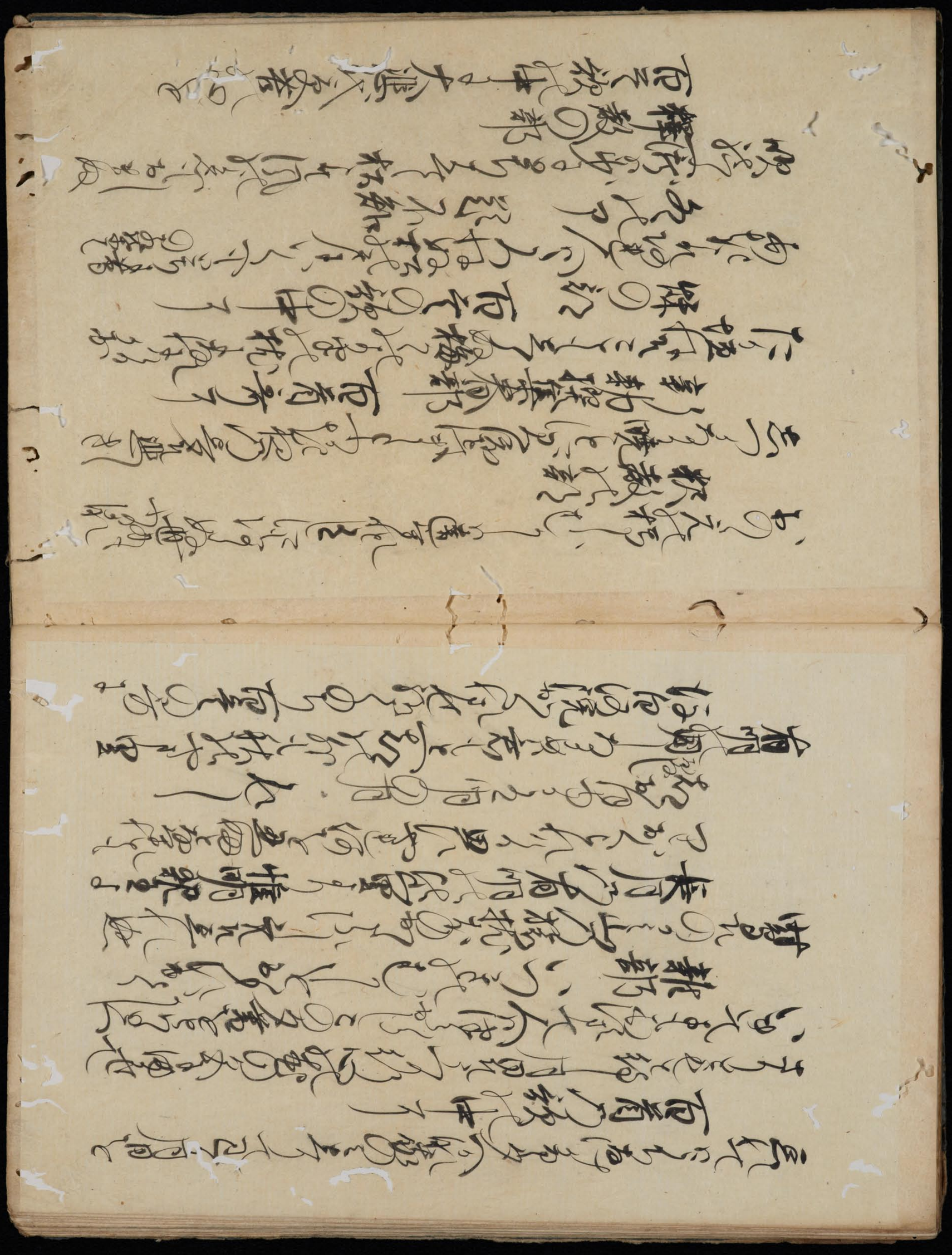
曙の空はまだ暗きに鶯のなくをきくとて　　ほのぼのと
なくうぐひすの声にまどふ夜の明けぬ
身をうらめしとおもふ人はなほ
ねぬるに風にまどふ夜の明けぬ
ちりぬるに風にまどふ夜の明けぬ
ちりぬるにしかもあさてにうぐひす
なくなり

祝

君をいはふ千代の数にはあらねども
いくとせ経ぬ君が千代にあらねども
君をいはふの心はうぐひす
君をいはふ千代の数にはあらねども

右乃御勅撰の有て歌
千載集春上部　源重の時に流る
神さびの思しやるべき方も侍らぬ夕暮乃花
雜部　こと〳〵し次
春と雨も秋濃未葉の色に侍りけり
恋部　百首の歌の内に
ちぎりしや忘れぬ人たのみなれば変る心ぞ
同　百首の歌乃中に恋部
神の思ひ乃つゆ
雜部　ぬれぬまと君に
笑顔の思ひ出せよ

仏ありて海に出し日数経のみとせより
明らかに何事なりしと侍りしかば
ありつるとぞ
みけるしてえ絶えるうちらしてこの海の神れぬを
釋教部
百そのの数の中に法文の内無貪欲
の唯世歌を不相応歌といつゝ心と
古里といひつゝ多くの月をみけるとれきけ
百そ人者の中より神祇部一首
けるこゝろ也れ心深くいりぬるこゝろ
彰古と集春部



[illegible]

百そのかぜ中　彰考館

くるゝはしらぬ世のなかの[illegible]

新　勅撰千載之部　百そ歌の中に

いつもちかゝはなにはなれぬ[illegible]

続後撰集春歌

左京大夫俊成

かすみこめて[illegible]

古郷の春とわすれぬ[illegible]

雑部

祝　神祇　山[illegible]

[illegible]

[illegible]

雜部

業の法師

後拾遺集雜部

[illegible]

忠の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

続千載集春部 区法百首のうち時
花とこたへけるを人の問ひたりしに
雑部 正治百首歌奉りし時
[illegible]
[illegible]
続後拾遺集みくまの百首の中に
[illegible]
雑部 百首歌奉りしに
[illegible]
新千載集恋部 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[